

7年2カ月を経て拝殿復旧

木山神宮拝殿災害復旧事業 竣工奉祝祭 しめんこうほうしゅくさい

木山神宮で6月18日、熊本地震による被災から復旧した拝殿の竣工奉祝祭が執り行われました。

竣工祭には多くの地元住民や関係者が参加。神事では、神様に拝殿の完成を報告する祝詞奏上のりとそうじょうや、拝殿をはらい清める清祓きよはらいの儀などが行われた他、神楽や「益城復興獅子舞」が奉納され、参加者を魅了しました。

宮司の矢田吉定やだよしきださんは「関係者のご尽力により待望の拝殿が完成した。しかし、完全復旧までの道のりは始まったばかり。しっかりやり遂げたい」と話しました。



㊤完成した木山神宮拝殿 ㊦奉納された神楽



西村町長から勲記を受け取った遠山さん

議員としての長年の功績をたたえて

高齢者叙勲伝達式

元町議会議員の遠山春一とやましゅんいちさん(馬水北)が高齢者叙勲で旭日単光章を受章し、その伝達式が6月21日、役場町長室で行われました。

遠山さんは、議員として3期12年にわたり町の発展に尽力。経済常任委員会副委員長、監査委員を務めるなど、議会の円滑な運営と公正で効率的な行政運営に貢献しました。

遠山さんは、「受章の意に沿えるように、これからも頑張っていきます」と感謝の意を表しました。

新庁舎の展示に書加わる

株鶴屋百貨店が杭迫柏樹くわいせこはくじゅさんの書を寄贈

(株)鶴屋百貨店から杭迫柏樹さんの書2点が、町に寄贈されました。

寄贈されたのは、同社の創業65周年記念展示会で展示されていた三百六十五歩のマーチの歌詞の書と、同70周年記念展示会で展示されていた感謝の書。作者の杭迫さんは日本を代表する書家で、(公社)日展が主催する総合美術展覧会「日展」の名誉・特別会員です。杭迫さんの思いと、本町出身の福岡哲生同社代表取締役社長の提案により、本町への寄贈に至りました。

6月16日、庁舎を訪れた福岡社長は「全国からの支援に対する感謝の気持ちを忘れないという意味で、『感謝』は益城町にふさわしい作品だと思います。たくさんの人に見ていただけたらうれしいです」と話しました。

「三百六十五歩のマーチ」は庁舎3階展望ロビーに、「感謝」は庁舎2階吹き抜け部分に展示されています。



上段 庁舎3階に展示されている書「三百六十五歩のマーチ」

下段 ㊤書家・杭迫柏樹さん(株)鶴屋百貨店提供)

㊦「感謝」の書と(株)鶴屋百貨店の福岡社長(右)